



# みのり

第88号

**経営理念** 私たちはみのりの精神である慈愛・奉仕・研究を基本精神とし地域・社会より愛され、認められる法人をめざし社会福祉事業の担い手として、地域・社会へ貢献します。

花のように “優しく 誠実に”

## 福祉の源流 「みのり村今昔」



社会福祉法人みのり村  
理事 鈴木 木明久

混迷の戦後間もない昭和26年に御法(みのり)をよすがとして一念発起された創業者の先見性から今年で63年目の継続、発展の歴史が現在のみのり村の正当性の証です。

但し、今までの歩みの正しさがこれからも継続するかどうかは、これからの日々の実践の成否に懸っていることはいうまでもありません。特に国の財政や政治の混迷等、不安定要因を勘案すると、わかり易く毅然とした「みのり村」独自の経営理念の確立が必要です。そのためには、

1. 「礼拝は正法眼蔵なり」の創業の理念の共有化
2. 正しい歴史認識にもとづいた長期の将来ビジョンの確立

「不易流行」つまり永続性と新風を取り入れた経営感覚を磨きつづける事、たえず、現状を改革し創造を繰り返す「創造的破壊」こそが永続的発展の源泉と考えます。

「みのり村」が存在すること自体が地域社会のセイフティーネットだと「人口に膾炙」されることが大切であり、目指す目標です。



## 優秀賞作品

(みのり村作品展 アートプラザにて)



第1みのり学園の皆さんによる作品「き・ず・な」

### 88号掲載内容

巻頭言	1 P
本 部	
・ 優秀賞作品	1 P
・ 児童発達支援センター開所に向けて直販所「縁」の隣にオープンを目指して	2 P
・ 介護・福祉タクシー いよいよ開始	2 P
・ 視察研修、職場実習、QC研究発表	3 P
・ みのり村作品展・ミニバレー参加他	4 P
・ 入社式・新人職員の紹介	5 P
・ 平成24年度 収支決算報告概要	6 P
・ ボランティア	7 P
	8 P

# 児童発達支援センター 開所に向けて

みのり学園児童デイサービスセンター「プリンちゃん」は、開所から2年を迎え、現在は、平成26年度からの児童発達支援センター化に向け、準備を進めています。

児童発達支援センターとは、未就学児を対象に、日常生活における基本的な動作の指導や集団生活への適応訓練を実施し、通所児童に対する療育だけでなく、障害児相談支援や保育所等訪問支援等の地域支援を併せて行います。

そこで、発達障がい児療育拠点としての児童発達支援センターを各障がい福祉圏域に整備するため、大分県障害福祉課による、発達障がい児支援圏域拠点整備事業が企画され、センター化を予定している児童発達支援事業所等の職員を対象に、発達障がい児療育実績のある児童発達支援センター(社会福祉法人別府発達医療センター児童発達支援センターひばり園)でのOJT方式による6ヶ月の長期研修にて、未就学の発達障がい児の支援方法及びセンター運営に必要なノウハウを学ぶことを目的とし、当事業所「プリンちゃん」も東部圏域として参加しています。

早期療育・早期支援体制を確立し、地域の身近な療育拠点となるよう、11月末の修了まで多くのことを学びたいと思います。

「プリンちゃん」 主任 須賀 敏子



研修施設の別府発達医療センター

# 直販所「縁」の隣に カフェオープンを目指して

「縁」をオープンして、早や十二年、暑い日・寒い日も利用者さんが地域の方々と接しながら、野菜やパンを販売してまいりました。手狭さや設備不足の為に不便をきたしながらも続けてまいりました。

今回土地の問題も整理され、ようやくカフェ店をオープンする為の、起工式が七月に執り行なわれました。これで、利用者さんの就労となる場が期待され、村の目玉となる窓口が確立されようと思います。オープンをお楽しみに！。

企画 尾花 孝也



起工式

# 福島への施設に職員応援

みのり村では、厚生労働省及び大分県より被災により介護職員等の人材不足のため要請されました応援事業として、福島県いわき市の老人保健施設に応援職員3名を派遣する事になりました。

6月18日には、辞令交付式並びに壮行会が行われ、派遣期間は、6月～8月の間、3名の職員が約3週間ごとに交代します。式では、理事長のあいさつの後、辞令書が交付され、3名はそれぞれ決意表明されました。

**福島へ介護の応援に**

「みのり村」の職員3人  
 杵築 26日から老健施設に

辞令交付式で決意を述べる3人

れぞれの通問に交代しながら、現地で介護業務を手伝う。加藤さんの出発は26日。

壮行式では大木理事長が3人に辞令書を交付し、「みのり村、大分県を代表しての派遣となる。自償と誇りを持って任務を全うしてほしい」とあいさつ。

3人は「精いっぱい頑張る。福島の現状も学び、帰ってからの業務に役立てたい」と決意表明した。

同法人によると、東京電力福島第1原発の事故などをを受け、周辺地域では離職した介護職員が多いことから、福島県が厚労省を通じて全国へ支援を要請している。

杵築市日野の社会福祉法人「みのり村」(大木理事長)の3人、加藤さん、森崎さん、大谷さんの順番でなる。

6月8日の間、派遣されるのは加藤祐一さん(25)と森崎大輔さん(26)。

市内杵築▽大谷雄一さん(26)▽市内大田小野▽森崎

大分合同新聞  
6月20日(木) 朝刊



# みのり村 介護・福祉タクシーの 御利用について



みのり村介護・福祉タクシーの車両と運転手

7月1日、障がい者、高齢者の方々の移動手段の方法として、福祉タクシー事業を開始しました。

この事業は、買い物・通院・お見舞い・美容院等に利用でき、車椅子の方でも利用できます。また、付き添いの方も同乗できます。

料金は、メーター制か時間制を選ぶことができます。是非、ご希望の方は、お問い合わせください。

また、介護保険の要介護1～5の方や、障害者総合支援法の認定区分を受けている方で、ケアプランや支給決定に基づき、通院・買い物・金融機関や郵便局等の手続きに利用できます。自家用自動車有償運送事業(介護タクシー)も9月より営業を開始しております。

皆様のご利用をお待ちしております。

予約電話 097816611095

(月～土 AM9:00～PM6:00)

高齢者福祉部長 大石 悦生

## 交通講話

# みんなで守って 安全運転

みのりホールにて交通講話が行われ職員20名が参加しました。

講師には杵築日出警察署の大森英治係長をお迎えしビデオで学習したのち、講話を拝聴いたしました。

ビデオは、無謀な運転による悲惨な事故についてでした。講話は飲酒運転、わき見運転等による死亡事故が多発しているという現状について資料を参照しながらお話をしてくださいました。

また、車だけでなく歩行者についても事故防止については責任があることについても触れられておりました。

交通事故においては、いつ自分が遭遇してもおかしくないほどの頻度で起こっております。みのり村の職員としての責務を自覚し、交通法規を遵守することはもとより体調を整え常にベストコンディションで優しい運転を心がけ事故防止に努めなければならないと再認識させられる有意義な講習会でした。



交通講話風景

交通安全委員長 古庄せつ子

# つつじ祭り開催

春の陽気に包まれ毎年恒例の「みのり村つつじ祭り」が開催されました。節目の30回目を迎えた今回のテーマは「新たな一歩 続く未来へ」です。白萩園の利用者による竹太鼓がオープニングを飾り、鈴木理事の開会宣言、大木理事長の挨拶に続き、ご来賓の八坂杵築市長、岩尾杵築高校校長、寺尾日出支援学校校長よりご祝辞をいただきました。

メインステージでは、ボランティアの方によるフラダンス、利用者さんのひよつとこ踊りや職員のソーラン節が会場を盛り上げ、施設利用者の方がご自慢の歌を披露されるなど趣向を凝らした催しが行われました。

その他、利用者の方が書かれた絵画の展示、施設内で作ったパンや種苗の販売など様々なイベントがあり、沢山の方にご来場いただきました。ありがとうございました。

また、介護保険の要介護1～5の方や、障害者総合支援法の認定区分を受けている方で、ケアプランや支給決定に基づき、通院・買い物・金融機関や郵便局等の手続きに利用できます。自家用自動車有償運送事業(介護タクシー)も9月より営業を開始しております。



新緑の銀杏の下で食事される御家族



演奏に合わせて歌って踊りました

# 別府市緑ヶ丘地区児童・民生委員の研修来園について

6月12日、別府市緑ヶ丘地区児童・民生委員である板井代表をはじめとする8名の委員さんが、研修目的で日出障がい福祉部の見学に来園されました。

到着後会議室にて「地域の子供たちが元気に安心して暮らせるように、子供たちを見守り、子育ての不安などの相談・支援等を行う」任務を確認し、続いて、見学に先立ちみりのり村パンフレット等を参考に日出部の紹介を行いながら、意見交換を行いました。

その後、各施設を見学されました。特にプリンちゃんの放課後等デイサービス事業には皆さん関心が深く、多くの質問がありました。最後に、「地域の子供たちの健全育成のために貴重な研修でした」との代表の方からの意見を聞き写真を撮り散会しました。

佐藤 修

# 野田老人クラブ視察研修へ

7月1日、杵築市野田老人クラブの視察研修会が菩提樹で開催されました。会員26名が出席され、始めにみりのり村を紹介したDVDを見て頂きました。

理事長の歓迎のあいさつに続き、会長小野三樹夫様からあいさつがありました。

研修では、三班に分かれて菩提樹内を見学。介護保険の認定方法や入所手続き等についての質問があり、皆様は熱心に聞いておられました。

最後に、本舗支援員の説明で道具を使った「3B体操」という軽体操を全員がされ「心も体もリフレッシュされました」と喜ばれました。次回は地域の公民館で介護予防をしたいという約束をされました。また、菩提樹（特別養護老人ホームユニット型）についてご理解も深めていただきました。



気持ちよく3B体操

# 支援学校実習生の受け入れ

6月11日から4日間、支援学校高等部2年生Aさんの職業実習を行いました。初日の花卉班での活動に始まり、ジャガイモ収穫、パン工房でのクッキー作り、「縁」での販売等を体験して頂きました。男性の方だけあり、農作業に興味を持って頂いた様に感じましたし、細かい仕事もこなす印象を受けました。

この実習の受け入れを通して、若い方達ごどの様なサービスの提供を求めているのかを知る良い機会になりました。又、実習生の方に対する接し方や言葉遣いにおいて、日頃の支援を見つめ直す機会にもなりました。

ワークセンター「誠」では、若い方々にも魅力を感じて利用してみたいと思っ頂ける事業所となるよう取り組んでいきます。

白萩園 渡辺 真也



実習の様子

# 法人内福祉QCC 研究発表



事例発表するスタッフ

本発表会は、QC手法を用いた改善活動に取り組む法人内の事業所から、多様な事例発表を行うことにより、相互の啓発並びに研鑽を図るとともに、各施設の今後の事業推進に資する事を目的として開催しています。今年度で12回目になります。

第1みのり学園は、「みんなで外にしよう！」というテーマで発表しました。

これまで外に出る機会が少なかったことを改めて振り返り、時間・支援者・歩行困難な方の為の公用車の確保などを計画的に進めることで、すべての利用者様が外出行事や日中活動に参加することが可能であることが分かりました。

「外に出たい」という利用者様の気持ち、外に出た時の利用者様の笑顔を大切に思い、今後も皆でアイデアを出し合い、知恵をしばってこの活動を継続していきたいと思えます。

第1みのり学園 児島喜代子

# 第8回 みのり村作品展

今迄大分市アートプラザにて行われましたが今回より地元開催をして、理解してもらおうよう少し変更しました。

地元日出町、杵築市の担当行政の方々にも心よく御理解していただき、日出町では観光拠点二の丸館にて開催致しました。また杵築市では山香町庁舎の市民ホールにて展示させて頂きました。市民の方々からは、「よかった、早く地元でやってくれれば行けたのに」等のご意見を頂きました。また来年も地域開催する意思を強める事ができました。



日出町二の丸館会場



大分アートプラザ会場



杵築市山香庁舎会場

# 社会保険

## ミニバレーボール

### 別府地区大会への参加

平成25年9月8日、別府市市民体育館で開催された「健康づくりミニバレーボール大会」に高齢者福祉部から15名の職員が参加しました。

今回で4回目の参加になりますが、ここ2年間は8月から日出中学校体育館で練習をして本番に臨んでいます。

結果は予選リーグ敗退でしたが、好プレー・珍プレーあり楽しんで参加することができ、チームワークは、参加チーム中1番だったと思っています。今後も、メンバーが集まる限り、参加し続けていきます。



チームワークはNo1!

# 九社連研究大会に参加して

去る7月25日～26日において、「平成25年度 九社連老人福祉施設協議会職員研究大会が、福岡県北九州市で開催されました。

この大会は、現場での実践活動の成果と効果、地域と連携、協働した高齢者ケアを推進することで、新しい地域福祉の形を九州から発信し、今後の介護サービスが「切れ目のない環(わ)」として限りなく広がり続けることを目的として開催されたものです。

参加対象者も老人福祉施設、デイサービス事業所、訪問介護事業所、地域密着型サービス事業所、地域包括センター、県市区町村社会福祉協議会等と幅広く、研究部会も1～9研究部会のテーマごとに発表時間は、一人十五分程度という持ち時間内で行われました。

当ヘルパスセッションは、第3研究部会「その人らしい在宅生活を支援するために」のテーマに沿って、「在宅で独居の男性利用者から調理支援内容に対しての要望に応えようとして、サービス管理責任者の土田ヘルパーが調理技術の向上を目指して実践を行った内容の研究発表を行いました。

発表に至るまで、多くの方々にご支援を頂きまして、大変感謝しています。

今後は、この大会で学んだ事を、他の職員と共有し、職員の質のレベルアップを目指し、取り組んでいきたいと思っております。ありがとうございました。

係長

阿部勢津子



事例発表をする土田、阿部

# 平成25年度 入社式



入社式で代表者決意表明

8名の新入職員を迎え、入社式が本部で行われました。  
理事長より「社会人としての新たなスタートを切る喜び、緊張、不安、さまざまな思いが入り混じっていることと思いますが共に頑張ってくださいませ」と訓示が述べられた後、一人ずつ辞令が渡されました。

## 新入職員の紹介



きとう さほ 木藤 沙穂 第1みのり学園

出身地：別府市  
趣味：DVDを見る事  
先輩職員の方や利用者の方たちと楽しく元気に過ごす、明るい雰囲気を作りたいと思っています。



ごとう たいき 後藤 太希 第1みのり学園

出身地：大分市  
趣味：珈琲を淹れる事、ドライブ、ツーリング  
早く一人前の支援者となり、いつまでも初心を忘れずに職務に当たりたいと思います。剪定など、利用される方の環境整備も積極的に参加したいと思っています。



あべ みか 阿部 美果 白百合園

出身地：杵築市  
趣味：音楽鑑賞  
大学や研修で学んだ事を活かし、いつまでも初心を忘れないよう常に緊張感を持って支援を行いたいと思います。



たなか かずき 田中 和紀 白萩園

出身地：別府市  
趣味：バスケットボール  
私の一年目としての抱負は、「疑問に思った事は何でも聞く」事です。この一年でたくさんの事を吸収し、その方に合った支援に活かしていきたいと思います。



ふじさわ まりこ 藤澤麻莉子 白萩園

出身地：別府市  
趣味：映画鑑賞  
まだまだ未熟な部分が多いですが、利用者さんの気持ちに寄り添い、安心を与えられる職員になれるよう頑張っています。よろしくお願ひします。



あべ かずひろ 阿部 和大 菩提樹

出身地：別府市  
趣味：サッカー観戦、ワンピースの漫画を読む、ドライブ  
今年は新人として、学ぶ事が沢山あると思います。失敗する事ばかりだとは思いますが、何事にも努力して一日一日を自分にとって有意義なものにしていきたいです。



のがみ ともよ 野上 智世 菩提樹

出身地：日出町  
趣味：テレビ鑑賞  
少しでも早く業務を覚えて、利用者の方々が楽しいと思えるような介助をしていきたいと思っています。



あおた あやか 青田 恵佳 菩提樹

出身地：日出町  
趣味：読書  
まだまだ分からない事が多いですが、毎日が勉強だと思って早く職場に馴染めるように頑張りたいです。

おめでとうございます

所 属	氏 名	資 格 名
菩提樹 施設サービス課	笠 置 幸 子	社会福祉士
菩提樹 施設サービス課	安 倍 晴 子	介護福祉士
菩提樹 施設サービス課	大 川 京 子	介護福祉士
菩提樹 施設サービス課	黒 瀬 幸 恵	介護福祉士
菩提樹 施設サービス課	曾 我 ひとみ	介護福祉士
みのりスマイル	清 原 和 典	介護福祉士
菩提樹 施設サービス課	田 辺 美代子	介護支援専門員
菩提樹 施設サービス課	梶 原 栄 子	介護支援専門員
菩提樹 在宅支援課	中 原 章 价	介護支援専門員
第1みのり学園	粟 納 由 江	保育士
第1みのり学園	大 木 昌太郎	施設長資格認定講習修了

平成24年度  
資格取得者一覽

# 平成24年度 収支決算

## 貸借対照表

単位：千円

社会福祉事業・公益事業			
流動資産	1,290,059	流動負債	63,382
固定資産	2,097,013	固定負債	224,258
その他の固定資産	1,163,151	基本金	544,867
		国庫補助金等特別積立金	842,124
		その他積立金	765,744
		次期繰越活動増減差額	2,109,848
資産の部合計	4,550,223	負債及び純資産の部合計	4,550,223

## 事業活動計算書

単位：千円

科目		社会福祉事業・公益事業
サービス活動増減の部	事業等収益計	1,471,982
	事業費用	1,099,365
	減価償却費	143,971
	国庫補助金等特別積立金取崩額	-38,207
	費用計	1,205,129
	サービス活動増減差額	266,853
サービス活動外増減の部	利息配当金収益	97
	サービス活動外収益	16,716
	サービス活動外収益計	16,813
	支払利息	4,465
	サービス活動外費用計	4,465
	サービス活動外増減差額	12,348
特別増減の部	繰入金収益他	594,384
	特別収入計	594,384
	繰入金費用他	593,193
	特別支出計	593,193
	特別収支差額	1,191
当期活動増減差額		280,392

## 資金収支計算書

単位：千円

科目		社会福祉事業・公益事業
事業活動による収支	事業活動資金収支差額	399,982
施設整備等による収支	施設整備等資金による収支差額	-273,000
その他の活動による収支	その他の活動資金収支差額	36,611
当期資金収支差額		163,593

**【総合福祉ケアサポートセンター みのり村】**

障がい児から就労そして老後までの安心トータルサポート

- 特別養護老人ホーム 菩提樹
- ショートステイ事業
- 菩提樹デイサービスセンター「風と樹々と空と」
- ケアプランセンター ぼだいじゅ
- ホームヘルパーステーション ぼだいじゅ
- 配食サービス
- 在宅介護支援センター ぼだいじゅ
- 直販所 えん(縁)
- 白萩農園
- 障害児入所施設 第1みのり学園
- 児童デイサービスセンター「プリンちゃん」
- 障害者支援施設 第2みのり学園
- 障害者支援施設 白百合園(女性)
- 障害福祉サービス事業所 みのりスマイル
- みのり障がい者生活支援センター
- 障害者支援施設 白萩園
- 障害福祉サービス事業所 ワークセンター「誠」
- グループホーム みのり村
- しらはぎ障がい者生活支援センター
- 介護・福祉タクシー

**第9回 みのり村作品展 『扉をひらいて下さい』**

～夢は果てなく広がる未来～

**アートプラザ アートホール 入場料無料**

日時：平成25年11月29日(金)～12月3日(火)  
9:00～17:00【12月3日のみ9:00～16:00】

場所：大分市荷場町3-31 TEL097-538-5000

**杵築市 山香庁舎**

日時：平成26年1月20日(月)～1月24日(金) 9:00～17:00  
場所：杵築市山香町大字野原1010-2 TEL0977-75-1111

**日出町 二の丸館**

日時：平成26年3月20日(木)～3月24日(月) 9:00～17:00  
場所：速見郡日出町2612-1 TEL0977-72-4255

<お問い合わせ> 社会福祉法人みのり村  
大分県杵築市大字日野1921-7 TEL 0978-62-2276

**いつもありがとう**

**ボランティア・実習生の皆さん** (代表者のみ)

**高齢者福祉部 実習生の感想**

同志社大学3回生 宮崎 夏実  
「介護」というと、大変で暗いイメージを持っていました。しかし、現場にいくとそのイメージは払拭されました。介護士さんも、利用者さんもよく笑い、あたたかい空気がありました。私は、ある認知症の利用者の方と時間を共にすることが多く、昔の事を話したり、一緒にお手伝いをしたりしました。その方は、少し時間がたてば私の事は忘れてしまいます。しかし、最後の日、その方に「あんたと話せて楽しかった」と、その一言が私にとっては忘れられない思い出になりました。目の前の相手の事をしっかりと想い、行動すること。大切なことに気づいた5日間でした。



**杵築障がい福祉部 実習生レポート**

別府大学 短期大学部 初等教育科 黒石 春菜  
10日間の実習を終えて、初めは分からない事のほうが多く、不安で仕方ありませんでした。そんな私に優しくしっかりと仕事内容を教えてくださった職員の方々にとっても感謝しています。  
日を重ねていくことで、たくさん利用者さんの話を聞いたり、名前を覚えてもらえたりしたことがとても嬉しかったし、いろいろ学ぶことができました。  
また、機織クラブや絵画クラブなどを通し、利用者さんの個性や、今まで見る事ができなかった姿を見る事ができ、とてもいい経験になりました。実際に機織をさせていただきました。とても楽しくて、もっとやりたいという気持ちがふくらみました。この10日間で学んだ事を今後に活かしていけたらと思います。

**みのり村日出部で実習を終えて**

別府大学短期大学部 初等教育科2年 厚田 紗苗  
私は 今回の実習で初めて障がい者と関わることができました。接し方でも最初は戸惑っていましたが、利用者さんと少しずつコンタクトがとれるようになり、楽しみややりがいを感じるようになりました。利用者さん1人ひとりの障がいは特性であり、その個性に合った支援をしていくことの大切さや利用者さんの気持ちを理解してあげる難しさもこれからの課題です。実習を通して利用者さんと触れ合う楽しさを学んだ10日間でもありました。

**ボランティア募集中**

**【編集後記】**

東日本大震災では津波等によりまして未曾有の被害が発生し、懸命な復興が進んでおります。

東北地方には、言い伝えられている先人の知恵「津波でんでんこ」があるそうです。

これは、たとえ肉親であつても構わずでんでんばらばらになつて高台へ逃げろとの意味です。誰も何時どんな災害に遭遇するかもわかりません。

「想定にとらわれるな」～「津波はここまでこないだろう」はダメ。「最善をつくせ」～指定避難所に逃げても、もう大丈夫とは思わない。「率先避難者たれ」～まわりが避難しなくても自分から避難する勇氣。

「災害は忘れた頃にやってくる」といわれますが、「災害は忘れる暇なくやって来る」いかがでしょうか？  
T a s h i r o

編集・発行／本部総務企画課

〒八七三-〇〇一三  
大分県杵築市大字日野一九二一七  
TEL 〇九七八-六六一二〇〇  
FAX 〇九七八-六一二一九七四  
URL http://www.minorimura.or.jp/  
E-mail info@minorimura.or.jp

(写真掲載等には、ご本人様の了解を得ております。)